## 新年度の主な取り組みを価値創出プロジェクトごとに紹介します

## プロジェクト1 誰もが活躍する共生のまち ~違いを認め合い、さまざまな人が活躍できるまち~



外国籍市民の生活相談に応じる市民相談窓口を充実

#### 外国籍の皆さんへの支援

- ・外国籍市民相談窓口を運営 700万円
- ・外国籍の中学生へ日本語をオンラインで支援 129万円

#### 市民・職員の共生意識向上に向けた取り組み

- ・共生社会づくり×文化芸術フェスタの開催 302万円
- ・ユニバーサルデザインの安曇野市役所を目指して 職員研修を実施 55万円

#### 公園施設のユニバーサルデザイン化の加速

・室山アグリパーク、下長尾公園トイレをバリアフリー化 8,328万円

## プロジェクト2選ばれ続けるまち、安曇野 ~若者や子育て世代に選ばれ続けるまちへ~



若い世代をターゲットに作成した移住プロモーション動 画「心地よさと暮らす、安曇野物語」



台湾からの訪日教育旅行を誘致 市内の子どもたちと交流

#### 若者が安曇野で働きたいと思えるように

- ・大学生を対象に市内企業をバスで巡る
- オープンファクトリーを実施 292万円
- ・中学生を対象にキャリアフェスティバルを開催 522万円

#### 経済活性化に向けた企業誘致としごと創出

- ・北穂高地区に予定している新たな産業団地造成に向けて 企業誘致 359万円
- ・地域資源・市内企業と都市部の企業をマッチングさせ 新ビジネスを創出 374万円 新
- ・リモートワーカーを育成し多様な働き方を推進 997万円
- ・奨学金返還制度を設ける中小企業を支援 200万円 新

#### 移住定住施策の取り組み

・子育て世代・若者をメインターゲットに 安曇野の暮らしを発信 6.044万円

#### ◆選ばれるための観光 PR

- ・観光メタバースを活用したプロモーション 900万円
- ・台湾からの訪日教育旅行を誘致 282万円
- ・企業の福利厚生休暇を活用した旅行を誘致 330万円 67

#### 価値創出プロジェクトとは?

市のまちづくりの基本となる総合計画。令和5年から令和9年 までの指針となる「第2次総合計画後期基本計画」では、安曇 野の新たな魅力や価値を創出し、すでに存在する多 回路域回 くの魅力を高め、価値として認識してもらうため5 つの「価値創出プロジェクト」を設定しています。



プロジェクト1 誰もが活躍する共生のまち

プロジェクト2 選ばれ続けるまち、安曇野

プロジェクト3 AZUMINO ブランドの発信

プロジェクト4 文化・芸術中核都市の実現

プロジェクト5 アウトドア・スポーツの聖地

### 一人一人が幸せを実感できる安曇野へ 地域の魅力を最大化

# 



安曇野の魅力を最大限発揮できるよう、総合計画に定める5つの価値創出プロジェクトを中心に事業の選択と集中 を行いました。予算の概要と主な事業を紹介します。 間財政課 TeL71-2005

		歳出		歳入
性質別	目的別			A PAGE
人件費	<b>総務費</b> 10.6%	<議会費0.5%> 2億6,182万円(前年度比+5.1%)		122億2,337万円(前年度比+8.4%) 個人市民税(48億1,500万円) 固定資産税(55億6,600万円)など
16.8%		53億1,659万円(前年度比+15.3%) 全般的な管理事務のための経費	市税 24.3%	
		174億5,544万円(前年度比+14.0%) 乳幼児・高齢者などを支援するための経費		<分担金負担金等1.2%> 5億 <b>9,142</b> 万円(前年度比△1.1%) 保育児童保育料(1億6,831万円)など
<b>物件費</b> 17.3%	民生費 34.7%	33億5,791万円(前年度比+23.4%) 生活環境保持のための経費	繰入金•繰越金	37億5,624万円(前年度比+24.2%) 財政調整基金繰入金(11億3,490万円)など
維持修繕費	34./%	<労働費0.1%> 6,183万円(前年度比+0.7%)	7.5%	<財産収入·寄附金0.7%>
0.4%		勤労者支援のための経費	諸収入5.3%	る。 3億5,139万円(前年度比△0.6%) ふるさと寄附金(3億円)
<b>扶助費</b> 12.7%		21億893万円(前年度比△3.7%) 農産物等販路拡大事業、有害鳥獣駆除対 策事業、さとぷる。などの経費		THE PROPERTY OF THE
補助費等	衛生費 6.7% 農林水産業費	27億4,049万円(前年度比+0.1%) 制度資金貸付、企業助成事業などの経費	<b>地方交付税</b> 23.1%	26億4,734万円(前年度比△1.4%) 施設使用料など
15.7%	4.2% <b>商工費</b> 5.5%	61億7,371万円(前年度比+17.6%) 市道新設改良事業、道路橋梁維持などの経費		116億円(前年度比公2.2%) 普通交付税(109億6,000万円) 特別交付税(6億4,000万円)
********	土木費 12.3%	16億9,574万円(前年度比+7.3%)	地方譲与税等 7.1%	25 - 7 040-
普通建設 事業費 15.9%		50億9,292万円(前年度比△24.5%)		35億7,819万円(前年度比△7.5%) 地方消費税交付金(24億4,000万円)など
15.9%	<b>消防費</b> 3.4%	認定こども園、小中学校、社会体育、文化事業などの経費 <災害復旧費0.0%>	国県支出金等 17.1%	86億1,276万円(前年度比+17.4%)
公債費	<b>教育費</b> 10.1%	301万円(前年度比△59.9%)	17.170	児童手当国庫負担金(14億7,867万円) 自立支援給付費負担金(9億4,189万円)など
11.8% 積立金0.9%		59億3,161万円(前年度比△20.0%) 借入金返済のための経費		
資及び出資金0.3% 貸付金3.1% 繰出金4.9% 予備費0.1%	公債費 11.8%	<予備費0.1%> <b>5,000</b> 万円(前年度比±0%) 想定外の支出に対応するための経費	<b>地方債</b> 13.7%	68億8,930万円(前年度比△13.1%) 合併特例事業債(30億760万円) 過疎債(2億5,080万円) 借換債(13億9,440万円)など

※万円未満四捨五入により金額の合計が一致しない場合があります。また同様に構成比の割合が100%にならない場合があります。

## 会計別予算

行政運営の基本となる一般会計のほか、保険料や財産区 など特定の事業を行う特別会計、独立採算の上下水道事 業会計の予算は次のとおりです。

令和7年度予算	前年度比
502億5,000万円	2.7%
213億6,396万円	1.2%
716億1,396万円	2.2%
	502億5,000万円 213億6,396万円

水道事業会計	令和7年度予算	前年度比
収益的収入	22億6,377万円	△1.0%
収益的支出	20億7,316万円	1.1%
資本的収入	2億7,603万円	25.1%
資本的支出	19億9,865万円	△1.7%
下水道事業会計	令和7年度予算	前年度比
収益的収入	37億8,083万円	0.8%
収益的支出	37億6,193万円	1.3%
資本的収入	23億613万円	44.4%
資本的支出	33億7,667万円	6.6%

3 No.379 April . 2025 April . 2025 No.379 2